

作成日 1997年 5月 1日

改訂日 2023年 4月 1日

安全データシート

1. 製品及び会社情報

製品名	電解液 S-105		
会社名	株式会社 中央製作所		
住 所	名古屋市瑞穂区内浜町24番1号		
担当部署	研究開発部		
電話番号	052-821-6196	F A X	052-823-2796
整理番号	S - 1 0 5		

2. 危険有害性の要約

GHS 分類

物理化学的危険性

引火性液体	: 区分外
自然発火性液体	: 区分外
自己発熱性化学品	: 区分外
水反応可燃性化学品	: 区分外

健康に対する有害性

急性毒性（経口）	: 区分 4
眼に対する重篤な損傷・眼刺激性	: 区分外
特定標的臓器毒性（単回ばく露）	: 区分外
特定標的臓器毒性（反復ばく露）	区分 1（甲状腺）

環境に対する有害性

水生環境有害性 短期（急性）	: 区分 3
水生環境有害性 長期（慢性）	: 区分 3

絵表示またはシンボル



注意喚起語	: 警告
危険有害性情報	: 飲み込むと有害 長期または反復暴露による臓器(甲状腺)の障害 水生生物に有害 長期的影響により水生生物に有害
注意書き	
安全対策	: 粉じん／煙／ガス／ミスト／蒸気／スプレーを吸入しないこと。 環境への放出を避けること。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後は手、前腕および顔をよく洗うこと。
救急処置	: 飲み込んだ場合：気分が悪いときは医師に連絡すること。

気分が悪いときは、医師の診察／手当てを受けること。
口をすすぐこと。

廃棄 : 内容物／容器を国際、国、都道府県又は市町村の規則に従って廃棄すること。

3. 組成及び成分情報

単一製品・混合物の区別	混合物		
化学名（又は一般名）	チオシアン酸ナトリウム水溶液		
成分及び含有量	チオシアン酸ナトリウム	14%	水 86%
化学特性（化学式）	NaSCN		H ₂ O
官報公示整理番号	1-160（化審法）		
C A S No.	540-72-7		

4. 応急措置

皮膚に付着した場合 : 多量の水で十分に洗い流す。
眼に入った場合 : 直ちに流水で十分に洗い流す。
飲み込んだ場合 : 直ちに水または食塩水を飲ませて吐かせる。必要に応じて医師の処置を受ける。

5. 火災時の措置

消火剤 : この製品自体は燃焼しない。
使ってはならない消化剤 : 特に無し
特定の消火方法 : 周辺火災の場合は速やかに容器を安全な場所に移す。移動不可能な場合は容器及び周囲に散水して冷却する。
消火を行う者の保護 : 防火用保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項 : 必要に応じて保護めがね、手袋を着用する。
環境に対する注意事項 : 河川、湖沼に直接流入させない。
除去方法 : 大量の水を用いて洗い流す。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い : 眼、皮膚に触れないよう必要に応じて適切な保護具を着用する。
保管
適切な保管条件 : 容器は密栓して冷暗所に保管する。
安全な容器包装材料 : ガラス、ポリエチレン、ポリプロピレンなど

8. 暴露防止及び保護措置

設備対策 : 取扱い場所近くに手洗い、洗顔設備を設け、その位置を明示する。
管理濃度 : 設定されていない。
許容濃度 : 日本産業衛生学会(2009年度版) : 設定されていない。
ACGIH(2009年度版) : 設定されていない。

保護具

手の保護具 : 必要ならば不浸透性保護手袋を着用する。
眼の保護具 : 必要ならばゴーグル型保護眼鏡を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

物理的状态

形状 : 液体
色 : 無色透明

臭い : 無臭

pH : 6.5~7.5

物理的状态が変化する特定の温度/温度範囲

沸点 : 約 100℃

引火点 : 不燃性である。 発火点 : 無し

密度 : 1.09

溶媒に対する溶解性 : アセトン, エチルアルコールに可溶。

10. 安定性及び反応性

安定性 : 通常条件で安定である。

避けるべき条件 : 日光, 熱

混触危険物質 : 酸化剤

危険有害な分解生成物 : 結晶を加熱すると窒素酸化物, 硫黄酸化物を生成する。

11. 有害性情報

急性毒性 : 飲み込むと有害 (区分 4)

経皮 : データ不足のため分類できない。

吸入 (蒸気) : データ不足のため分類できない。

吸入 (ミスト) : データ不足のため分類できない。

ラット 経口 LD50=764mg/kg

皮膚腐食性・刺激性 : 区分外

水溶液の pH はほぼ中性であり, 区分外とした。

眼に対する重篤な損傷・刺激性

: データ不足のため分類できない。

呼吸器感作性又は皮膚感作性

: 呼吸器感作性 : データ不足のため分類できない。

皮膚感作性 : データ不足のため分類できない。

生殖細胞変異原性 : データ不足のため分類できない。

発がん性 : データ不足のため分類できない。

生殖毒性 : データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性 (単回ばく露)

: データ不足のため分類できない。

特定標的臓器毒性 (反復ばく露)

: 長期または反復暴露による中枢神経系, 甲状腺の障害のおそれ (区分 1)

中枢神経系, 甲状腺に影響を与え, 機能障害, 甲状腺機能低下を生じることがある。

吸引性呼吸器有害性

: データ不足のため分類できない。

12. 環境影響情報

生体毒性

魚毒性 : 水生毒性 (急性) : データ不足のため分類できない。

水生毒性 (慢性) : データ不足のため分類できない。

残留性/分解性 : 難分解性でないと判断される物質である。

土壌中の移動性 : データなし

13. 廃棄上の注意

測定後の液 : 水で希釈(20 倍以上)して排出する。排水処理装置がある場合は, そのまま酸アルカリ系に排出する。

未使用液 : 水で希釈(20 倍以上)して排出する。

排水処理装置がある場合は、そのまま酸アルカリ系に排出する。
空容器は内容物を水洗いした後、産業廃棄物として処理する。

14. 輸送上の注意

- 国連分類 : 分類基準に該当しない。
国内規制 : 適用法令無し。
輸送の特定の安全対策及び条件 : 容器に漏れの無いことを確かめ、転倒、落下、損傷が無いように積み込み、荷崩れ防止を確実に行う。

15. 適用法令

- 毒物及び劇物取締法 : 非該当
労働安全衛生法 : 非該当
化学物質排出把握管理促進法(PRTR法) : 非該当

16. その他の情報

引用文献

- ① **Dangerous Properties of Industrial Materials, 6th ed N.I.Sax** 他編
- ② 15710の化学商品, 化学工業日報社(2010)
- ③ 化学大辞典 共立出版社(1963)

* この製品安全データシートは、各種の文献などに基づいて作成していますが、必ずしもすべての情報を網羅しているものではありませんので、取り扱いには充分注意してください。

また、含有量、物理/化学的性質、危険有害性などの記載内容は、情報提供であり、いかなる保証をなすものではありません。

なお、注意事項は通常の取り扱いを対象としたものであり、特殊な取り扱いをする場合には、その用途・用法に適した安全対策を実施してください。